

風疹とは、風疹ウィルスが感染者の唾液や飛沫などによって他の人にうつる病気で、春から夏にかけて流行します。妊娠初期の女性が風疹に罹ると、胎児にも感染し、「先天性風疹症候群」という病気を発症する場合がありますが、風疹抗体検査とワクチン接種により、感染を予防することができます。

厚生労働省は、風疹の新たな予防対策として、子供のころに予防接種の機会がなかったために特に感染リスクが高いとされる、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象に、2019年から2022年3月31日までの約3年間、風疹抗体検査とワクチン接種を原則無料にすると発表しました。

国内で風疹の免疫がある人は92%とされていますが、この世代の男性は約80%と特に低いと言われています。世界保健機関（WHO）によると、流行を阻止できる集団免疫という状態になるには85%が目安で、今回の対策で20年の東京五輪までに85%以上に引き上げ、21年度末には90%以上とすることを目標としています。

新年度より、全国各自治体ごとに風疹抗体検査と予防接種の助成が受けられるようになりました。詳細は最寄りの医療機関および市役所、保健センター等へご相談下さい。